



2009年2月のマンスリーNEWS

■コラム

■たばこの自販機

お困りの方は御一報ください！！

タスポ導入後、タバコ自販機の売上げ減少は目に余るものがあります。当社では、その売上げを少しでも元に戻すことは出来ないのか？検討してきました。

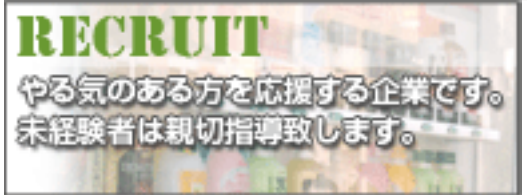
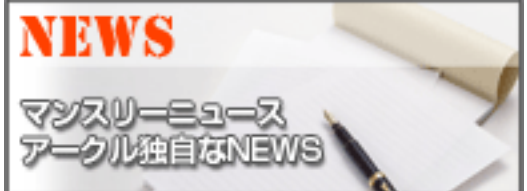
私達の提案でお客様のタバコの自販機の売上げがよみがえるかもしれません。ほんとうにわずかですが、何件かのタバコの自販機がよみがえりました。(本当です。)

もしご興味があれば、ご連絡ください。ご説明にいたします。

当社の自販機の設置先の中心は今まで、酒屋とタバコ屋が中心でした。

しかし、酒屋さんは衰退し、タバコ屋さんまでもタスポ導入の影響で廃業に追い込まれそうな状況にあります。私達は、タバコ屋さんに対して今までの恩返しの意味も込めて手助けしていこうと考えました。

とても面白い提案が出来ると思っていますので、一度お話しを聞いてみてください。



運転免許で買えるタバコ自販機

■コラム

■2月のアークル



今月のアークルは自販機清掃月間になります。毎年ピカピカ清掃キャンペーンと言う事でシールまで作成し、清掃の徹底をしてまいりました。今年から清掃月間というのを設け、徹底的に清掃に努めてまいります。シールは貼りませんが、やることは変わらないので頑張っていこうと思っています。

また、ただいまJTの自販機の展開をしておりますので、もし皆様の中でJTの自販機や商品にご興味のある方はご連絡ください。ちなみにJTはヒートポンプ自販機の展開に非常に力を入れているようです。ヒートポンプ自販機は従来の自販機に比べ、電気料金が半減するので、目を集めている自販機です。

「Roots Finedays !」

中南米産のコーヒー豆を中心に使用。「ライブ製法」により、軽やかなミルク感にしっかりとコーヒーが引き立つ、すっきりとした味わいに仕上げました。また、通常の缶コーヒーに比べて糖類を80%カットし、コーヒーポリフェノールを当社従来品比50%アップした、からだにうれしい設計です。

JT新コーヒー

■コラム

■ダイドー 今年 前半の注目商品はこれだ!!



ウルトラセブン・帰ってきたウルトラマン・ウルトラマンティガ・ウルトラマンメビウス

販売価格は100円！！今の不況にはありがたい価格です。

“誰もがイメージできる味わい”、“世代を超えて楽しめるおいしさ”をキーワードに商品開発を行う中、今回は、“誰もがイメージできるヒーロー”、“世代を超えて楽しめるキャラクター”である「ウルトラ」シリーズとのコラボレーション商品を企画。円谷プロダクションの協力の下、出来上がりました。

<p>ウルトラマン</p> <p>M78星雲「光の国」から宇宙怪獣を追って地球へやってきたウルトラマンは、科学特捜隊のハヤタ隊員と一心同体になった。人類が危機に直面した時、ハヤタはウルトラマンに変身し、怪獣や宇宙人と戦うのだ。</p>	<p>ウルトラセブン</p> <p>M78星雲「光の国」の偵察員340号として登場。第2期シリーズ以降は宇宙警備隊の隊員として、ウルトラ兄弟の3番目として再登場。地球での姿はモロポン・ダン。頭部には宇宙ブーメラン「アイスラッガー」を装着している。</p>	<p>ウルトラマンティガ</p> <p>3000万年前の超古代の戦士で、地球平和連合の特別捜査チームGUTSの隊員マドカ・ダイゴがスパークレンスを空に掲げて変身。戦闘の場面に応じて、マルチ・スカイ・パワーの3つの形態をとることができるのだ。</p>
<p>ウルトラ怪獣百科 ゼットン</p> <p>「ウルトラマン」最終回にあらわれ、初代ウルトラマンを倒した強敵。以降のシリーズ作品にも最強クラスの敵として登場している。別名「宇宙恐竜」。頭部から放つ火の玉（ゼットン火球）や手先からの光線が武器。</p>	<p>ウルトラ怪獣百科 エレキング</p> <p>「ウルトラセブン」第3話に登場。高い電圧と二日月形の角が特徴で、体から電気ショックを放つ。頭でピット星人に育てられた。短期間に大きく育ち、カプセル怪獣と戦い勝利するが、その後ウルトラセブンに倒される。</p>	<p>ウルトラ怪獣百科 メルバ</p> <p>「空を切り裂く怪獣」といわれた超古代竜。イースター島からあらわれ、ティガのピラミッド内にある3体の巨人像を破壊するために日本を目指す。目から発する光線と空をマッパ6の高度で飛び回ってティガを襲った。</p>

←裏面デザイン

■コラム ■DYDO株は垂涎の的? □食品・外食2009年注目銘柄

週間ダイヤモンド1/17号より



ダイドー「日本の祭り」青森ねぶた

どうやら業界筋ではダイドードリンコの株は注目銘柄らしいです。その内容とは・・・

なんてたって最大の強みは業界第3位の飲料自販機網（29万台）。販売量の約9割が原則定価販売の自販機経由で、拡販・乱売に明け暮れる他社からは垂涎の的となっている。昨年、自販機設置台数30万台の目標を撤回し、販売効率化へ舵を切ったことから、水面下で大手各社が提携強化に向けて動いている。

昨年、飲料業界はマイナス成長に陥り、大手メーカーの優勝劣敗は明確になりつつある。業界再編の動きは本当に高まってきた様子で、その再編の鍵を握るのは自販機と言われている。自販機は飲料総売上の約4割を占める流通チャンネルで、定価販売のため利益も大きい。

そこでの一番名前が挙がるのがダイドーということなのです。前期の業績の落ち込みはタスポ導入に伴う一時的なもので、業界3位の自販機網の魅力は大きく、大手各社はいずれもダイドーに秋風を送り、その動向を注視している。

ちなみに2月10日現在のダイドードリンコの株価は、2,525円でPERは16.02倍です。昨年10月に一時1,800円をつけましたが、だいぶ戻しました。

直近の年間売上げは約1530億円で、自己資本比率は66%です。この自己資本比率を見れば倒産ということは考えられません。

先日、ダイドーの役員と少し話す機会がありました。「今回の決算は、30年間増収増益だった私達が始めて経験する減収減益だ。」と言っていました。来期は自販機のリース料圧縮を含め、経費軽減やルートの見直しをしていくとのこと。

ダイドーと言えば自販機の代名詞のような会社です。その会社が今回その生命線である自販機のリース料の圧縮をするということはとても大きなことです。まさにここに手をつけようとしている背景にはやはり、上場会社で株主に対する配慮が伺えます。ダイドーは自己資本比率が非常に高く堅実経営をしていると評判が高い企業で、そのために株主の期待を裏切ってはならないという思

いは非常に強いと思います。

しかし、自販機ビジネスは本当に景気に左右されにくいビジネスなので逆に今不況と言われる
ときが、市場拡大のチャンスなのです。私達自販機オペレーターはメーカーと協力体制を築いて業
務を遂行していかなければ、この仕事は出来ません。つまりメーカーさんも頑張って好業績を残
し、私達も頑張って好業績を残さないと両者の発展はないのです。

今年はアークルは攻めの年と認識して頑張っています。

■コラム

■1月の売れ筋商品

DYDO売れ筋ベスト5	SUNTORY売れ筋ベスト5
1位 ダイドブレンドコーヒー	1位 ボス贅沢微糖
2位 デミタスコーヒー	2位 ボスレインボーマウンテン
3位 Mコーヒー樽	3位 ホット伊右衛門275ボトル缶
4位 朝摘み290ボトル缶	4位 ボスプレミアムクリア
5位 Ti-Haミルクティー	5位 ボスカフェオレ

DYDO、サントリー共に上位は変動がありませんでした。この時期はHOT商品です
ね。

■コラム

■中国の自販機オペレーター

ベンディングジャーナル1月号より

ダイドードリンコさんが中国・上海に自販機オペレート会社を立ち上げました。今年に1月
から本格的に開始していくようです。

今回設立した新会社は「上海大徳鼎徳商貿有限公司」と言い、上海のオフィスや繁華街のロケ
ーションを開拓し、初年度数百台の設置を目指しているようです。自販機には当面他社飲料を中心
に入れ、将来的には自社商品を投入するということです。さてどうなることか？

皆さん2005年の12月のマンスリーニュース覚えていますか？

(<http://www.arclu.com/report200512.html>)

中国大連で富士電機が自販機オペレーター会社を立ち上げその視察レポートを書きました。こ
のレポートではコインの流通量が少ないことや、商品に仕入れが高くて儲からないことや、ルート
ンマン管理が非常に難しいなどネガティブなことを多く書きました。今現状はどうなのでしょう
か？

ベンディングジャーナルという業界新聞があります。とても興味深い特集で、最近中国の自販機
オペレーター紹介の記事が、毎月載るようになりました。今月号では上海の「上海建凌自動販売機
有限公司」の社長のインタビューが載っていました。少し紹介しましょう。

●現在の自販機台数、展開の特徴等を教えてください。

現在、稼働自販機は缶・ペット飲料機が90台、コーヒー自販機（缶のみ）が20台、食品自
販機は20台の合計130台です。この内浦東空港に40台、上海南駅に12台、華山病院10
台、虹橋空港5台、上海駅、工場、オフィスビル等に計63台を設置しています。特に浦東空港に
は4～5人が常駐し1日2～3回巡回します。他のロケは1日1回、2人1組でルートカー3台で
約100台をフォローします。

●優良ロケの販売動向やロケマージンについて教えてください。

最も売れる場所は上海南駅で1台で1日300～400本、売価は350ml缶で3元なので1日
1台平均1000元になります。売価は350ml缶は工場2元、オフィスビルで2.5元にして
います。

売れ筋はコココーラ、お茶、水、ジュース（果汁）ですが、特に工場はジュース、病院は水、空港はコーラとお茶が売れます。ただし缶コーヒーはあまり売れません。

ロケマージンは①無料②電気代負担③マージン④場所代で平均すると売上げの約25%くらいです。

●自販機運営上での具体的問題点及びロケ開発の現状について教えてください。

現在自販機での使用貨幣は1元と5角、お札は5元と10元札で、お札はつり銭対応をしていますが、中国はコインの流通量が非常に少なく不便です。また、飲料容器の種類が非常に多く特に600mlや500ml容器はジャムが多いです。この2点が現在の自販機運営の大きな制約要因と言えます。

またロケ開発は大部分が人脈中心で上から下までパイプを通す必要があり、個別開発は非常に難しいです。現在私1人でやっており、年間50～60台位新規に開発しています。

●今後の方針や課題、売上げ状況等をお聞かせください。

当社の過去3年間の伸び率は平均20%位で、今期の売上げは400万元位を見込んでいます。しかし今後の新規ロケ開発は一層厳しくなるし成長も鈍化します。

現在大きな工業団地のロケ開発に力を入れていますが他社も狙っており競争は激しいです。しかし自販機の認知度は徐々にアップしつつあり、また市内は地下鉄駅設置も増加しています。上海全体では工場エリアを含めて2年前の2千台が現在5千台まで増加してきています。

中国での自販機オペレート業務は色々問題はたくさんあるようです。また中国らしいと思ったのは、新規ロケ開発が人脈で行われることです。昨今、自販機に認知が進んでいることは間違いなさそうで、ここ数年には花は開くのではないのでしょうか？ダイドードリンコの中国展開に興味深々で見て行きたいです。また、現地視察などが出来るようでしたら皆さんにお伝えしていこうと思います。

■コラム

■アジア最古のゴルフ場 ヌワラエリアゴルフクラブ

先月号でお伝えした通りお正月休みを利用して、再度スリランカに行ってきました。今回は前回行けなかった、ヌワラエリアに行くことが出来ました。ヌワラエリアは1800mの高地にあり、世界的に有名な紅茶の産地です。この街はコロニー時代にイギリス人が作った街で、とても美しくホテル、クラブ競馬場、ゴルフ場などが街の中心にあります。今回はそのゴルフに行ったレポートをお届けします。



このゴルフ場はアジア最古のゴルフ場で1889年開場と言いますから、日本では明治22年にあたります。つまり徳川幕府から大政奉還されてからたった22年しかたっていないときに出来たゴルフということになります。

クラブハウスはコロニアル調で、中に入るとバーなどがありその部屋にメンバーのネームプレートがずらっと貼ってある隣に、歴代のクラブチャンピオンの名前が載っています。ほとんどがイギリス人のようです。

キャディは1人に1人必ずつきます。もちろん歩きのラウンドになります。面白いのは、ボールが茂みに入りロストになると、現地の子供たちが一生懸命チップ欲しさに探してくれるのです。ということで、私は一つのボールもなくしませんでした。

アジア最古のゴルフ場でプレイということで、ミーハー気分でラウンドしてきました。スコアは？って・・・それは内緒です。

ヌワラエリアゴルフクラブ クラブハウス

ちなみに、宿泊したホテ



ルはヌワラエリアグランドホテルというところで、これがまた素晴らしいホテルです。日本で言えば、富士屋ホテルのようなクラシックホテルです。もちろん2食の食事付きで格安料金ですよ。



宿泊したヌワラエリアグランドホテル

左側のおじいさんが私に付いたキャディ（チップは500円）

■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

ただいまブログは8名が更新中です。

- ・所長のブログ（小田原H所長）
- ・チーフの給湯室（小田原Mチーフ）
- ・情報最前線（海老名K所長）
- ・促進課・ほしやんの鼻からうどん
いれたるか
- ・促進課オヨヨ
- ・販促課オオクワ80mm
- ・産地直送！新鮮ネタ（海老名Nチーフ）
- ・古本おやじの独り言（98キロの
人面冷凍マグロ）



今年も梅の季節が・・・（下曾我 1/24撮影）

今月は以上です。又、来月号も宜しくお願いします。

■2008年度のマンスリーNEWS

➡	2009.01	アークル マンスリーNEWS
---	---------	--------------------------------

■マンスリーNEWSアーカイブ

➡	最新	マンスリーNEWSトップページ
➡	2008年度	2008年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2007年度	2007年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2006年度	2006年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2005年度	2005年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2004年度	2004年のマンスリーNEWSアーカイブ

